

秋葉就一の県政レポート No.19

八千代市大和田新田 3 1 2 - 9 - 2 0 1

<http://shuichi.akiba.coocan.jp/>

TEL 047-489-5406 (fax5407)

電子メール: akibasanka@yahoo.co.jp

公表分の発熱外来指定機関微増

★第19回 秋葉就一の県政報告&対話会★

- ・日時：4月24日（日）午後2時～4時（受付開始1時45分）
 - ・会場：八千代台東南公民館 3階 会議室、（八千代市八千代台南1-11-6）、ZOOMとのハイブリッド開催
 - ・参加費：無料
- ※事前予約制。会場参加は12人まで、ZOOMは20人まで。
お申込は、電話・FAX・メールで。ZOOMはメールのみ



2022.3.7の予算委員会で質疑を行う秋葉就一

住み続けたいと思える千葉県に（八千代市から）

東葉高速鉄道の経営状況は

秋葉は、昨年12/13開催の総合企画企業常任委員会で以下の質疑（一部のみ掲載）を行いました。

東葉高速鉄道の2021年度上半期の運輸収入はと問うと、約61億円で、対前年度比では7%増でしたが、コロナ前の対前々年度比だとマイナス27%、との答弁でした。

しかしながら、近隣の北総鉄道が2022年秋からの運賃値下げを発表したこともあり、私は、一般質問に続けて、社会実験による運賃値下げ（例えば4年間、一時的な運賃減収分を3自治体が負担するか貸付を行うことで会社の経営に直接の影響を与えない方式）を再度、強く提案しました。

「千葉県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口」（休日含む24時間）は↓

⇒ 電話：03-6412-9326

●千葉県発熱相談コールセンターは↓

0570-200-139（休日含む24時間）

住宅用ソーラー発電補助復活を

2022年度の千葉県の当初予算では、住宅用省エネ設備等助成事業が住宅用設備等脱炭素化促進事業となり、県政レポート18号に記載した通り、電気自動車と可搬型外部給電器に対する補助が新設された。また、燃料電池（エネファーム）に対する補助が拡充され、「停電時自立運転機能あり」の場合は従来の倍の10万円になった。

他方で、家庭用蓄電池（太陽光発電設備ありの方のみ）への助成は、上限が3万円減の7万円になってしまった。



また、何よりも、私が昨年12月議会の一般質問で拡充を要望した住宅用ソーラー発電設備への助成が廃止されてしまった。

販売業者かパネル製造業者が千葉県所在の場合は復活すべきと強く要望しました。